

# ソーシャル・コンテンツ・デザイン

担当教員：千代倉 弘明、飯沼 瑞穂、松橋 崇史、水谷 衣里

(メディア学部 教授) (メディア学部 准教授) (メディア学部 助教) (メディア学部 講師)

『ソーシャル・コンテンツ・デザイン』では、魅力的なコンテンツを考案することで、コミュニティの形成・活性化させ、社会問題の解決を図ります。アプリ制作や、3DCGなど、メディアを使ったコンテンツ制作経験を生かして、社会における問題の解決へと一緒に結びつけてみませんか。

魅力的な  
コンテンツ

コミュニティの  
活性化

社会問題の  
解決



くまもん

魅力的なコンテンツとは、ゆるきゃら、ご当地アイドル、アート、ミュージアム、祭り、学習教材、特産品、スポーツといったものです。

私たちは、コミュニティの活性化と社会問題の解決を結びつける、新たな魅力的なコンテンツを考えていきます



水木しげるロード  
鳥取県境港市

あなたの地元は元気ですか？

過疎化、若者離れ、人口減少、そういった問題に取り組み、元気をなくしてしまった場所に、スポットライトをあて、再び活気のある街に戻すにはどうしたらよいかを、考え・方法を編み出していくのが、本研究室の1つの課題です。



携帯型浄水器  
「ライフストロー」

国内の社会問題では、商店街などの地域の衰退、保育園不足が挙げられ、国際社会では、貧困問題や、子供たちの学習機会の確保といった問題があります。私たちは、様々な目線からメディアを通して、問題解決への道を研究・開発し、より良い未来を切り開くために、コンテンツをデザインしていきます。

## 卒業研究の領域

### 『3DCGを用いた文化遺産の復元』



- ・現存しなかったり海外にある文化遺産を、教育コンテンツとして3DCGで復元します。
- ・左図は、外国で有名なルドルフ・シュタイナーの教育思想を紹介するためのコンテンツです。スイスドルナッハにあるゲーテアヌム（シュタイナーの代表作）を3DCGで再現して自由な角度から観覧を可能にしました。

### 『板書抽出可能なPCデスクトップクロマキー』



- ・クロマキーと言えばテレビの天気予報などで活用されている技術ですが、このシステムは、ウェブカメラやビデオカメラで映した人物の背景を除去し、講義資料の上に黒板にチョークで板書した文字や図形も抽出でき、重ねて表示も可能です。
- ・全く新しい可能性を秘めた技術です。

### 『シリアスゲームによる地域活性化』



- ・ゲームによって地域コミュニティの活性化を目標として、地域に対する関心や興味の向上を検証します。
- ・左図は、八王子にある片倉城跡公園を舞台に、キャラクターを操作することができ、文化財を調べるコマンドが用意されています。

### 『教育コンテンツ・インターネット放送』



- ・研究室で独自に開発したシステムを活用し、東京工科大学の教育コンテンツを随時、録画配信しています。
- ・講師のPC画面と講師映像をリアルタイムに合成し、高画質な映像を容易に作成できる画期的なシステムです。今後の発展が期待されています。

コース：ソーシャルメディアサービス

研究室：研究棟C-525

東京工科大学メディア学部